

輪島塗会館

輪島塗会館は、輪島塗と呼ばれる郷土特有の漆器を展示している。輪島は、日本でも最大の漆器製造地である。輪島塗は、特にその耐久性が評価されている。それにより輪島塗は、20 世紀の変わり目にかけて、家庭の食卓用食器で高い人気を誇っていた。現在は、洗練された外観が珍重され、実用的で利用できる芸術品として評価されている。

この展示室では、素晴らしい輪島塗の作品や、現代的なものから歴史的物まで、輪島塗の作成に使用された道具も展示されている。また、木地づくりから装飾、最終の磨き上げまでの、約 124 段階にわたる輪島塗制作工程の詳細が展示されている。

1 階の店では、椀、カップ、箸、皿、箱など、様々な輪島塗の漆器が販売されている。